施工説明書

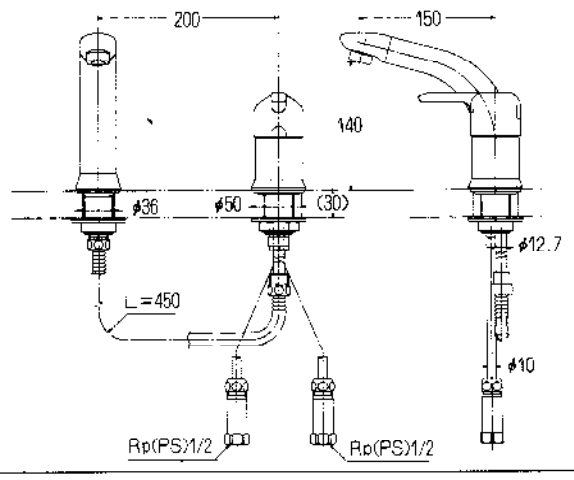
洗面器用シングルレバー混合水栓

一般地用 LF-330S　寒冷地用 LF-330SN

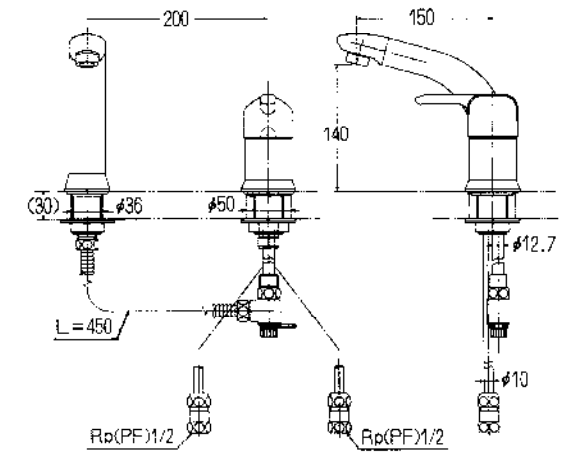
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●商品図

一般地用
LF-330S



寒冷地用
LF-330SN



●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を需らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

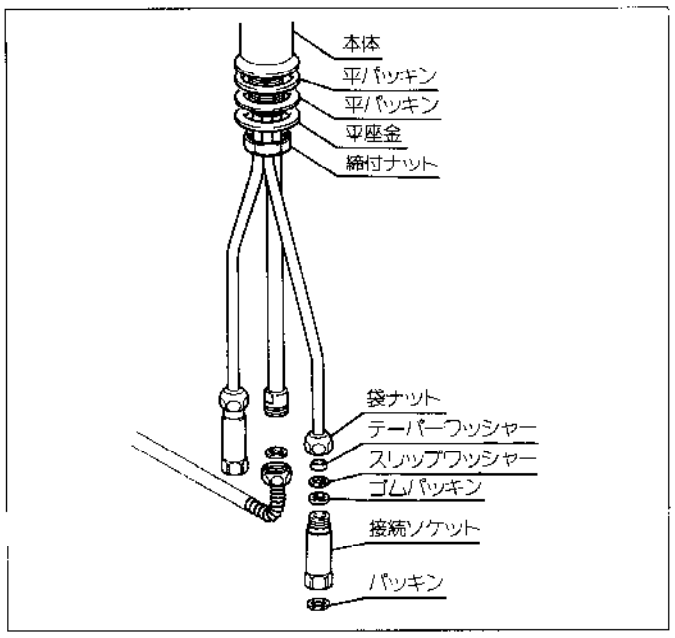
●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力……A+0.08MPa{0.8kgf/㎠}
最高圧力…… 0.74MPa{7.5kgf/㎠}
※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
●測定条件
※レバーハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
最高圧力……0.74MPa{7.5kgf/㎠}
●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
●給水圧力が0.74MPa{7.5kgf/㎠}を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20MPa{2kgf/㎠}程度）に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

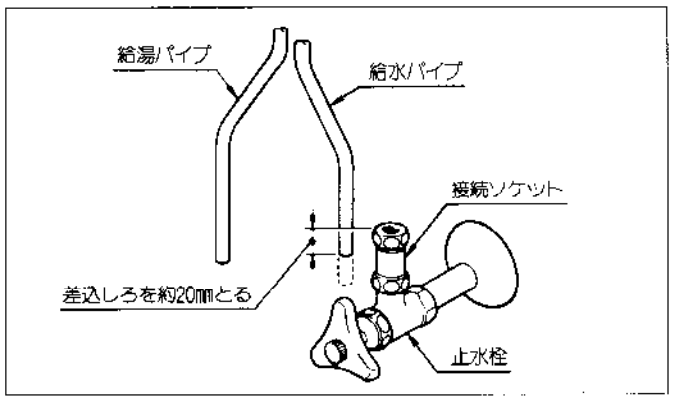
●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な専用工具（KG-9）を用意してください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

1．水栓本体が正面を向くように仮固定する。給水・給湯用止水栓の位置を考慮して給水・給湯パイプを曲げ広げます。
※この時直管部をできるだけ長くとってください。





2．接続ソケットを止水栓本体に仮固定し、給水・給湯パイプの接続ソケットへの差込しろをとり、パイプを切断します。
3．給水・給湯パイプを接続ソケットに差し込んでから本体を固定します。
※水栓本体の固定には別売の専用工具(KG-9)を使用し、十分締め付けてください。
※レバーハンドルを持って締め付けないでください。破損の恐れがあります。
4．給水・給湯パイプを差し込んだまま接続ソケットを止水栓にねじ込み固定します。
5．袋ナットを締め付けます。この時、給水・給湯パイプを押し込み手締め後工具で強く締め付け（約1回転）ます。
6．吐水口部の固定
※吐水口台座の固定には別売の専用工具(KG-9)を使用し、十分締め付けてください。

株式会社INAX

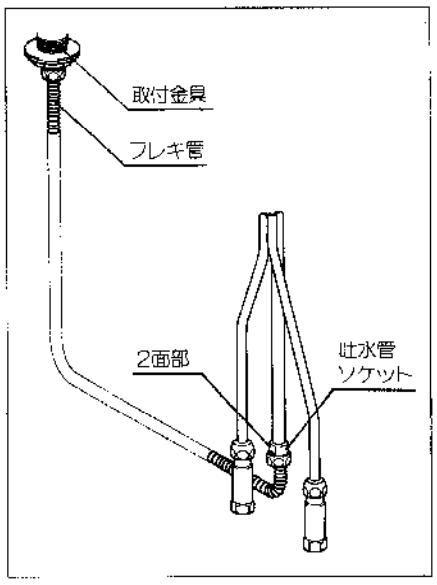
本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

7. フレキ管の接続

〔一般地用(LF-330S)の場合〕

同梱のフレキ管にて本体側の吐水管ソケットと吐水口側の取付金具を接続します。

※このとき吐水管がねじれないようにソケットの2面部をスパナ等で保持して締め付けてください。



〔寒冷地用(LF-330SN)の場合〕

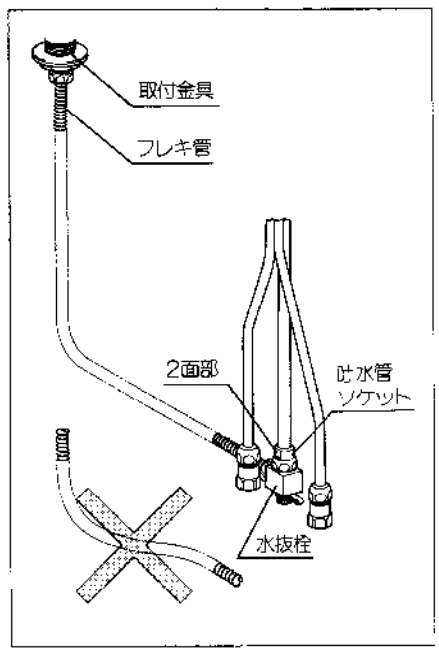
(1)水抜栓を本体側の吐水管ソケットに接続します。

※このとき水抜栓の他方のねじ部が吐水口の方向となるように固定してください。

※吐水管がねじれないようにソケットの2面部をスパナ等で保持して締め付けてください。

(2)同梱のフレキ管にて水抜栓と吐水口側の取付金具を接続します。

※フレキ管のわん曲部が水抜栓より下方にならないようにしてください。



●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa{2kgf/㎠}を超える場合は湯と水の吐出量がほぼ同じになるように、水側の止水栓を絞ってください。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　置
流量が少ない	止水栓が全開されているか?		止水栓を十分開く。
	ゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。